令和4年度近畿高等学校ソフトテニス選手権大会における新型コロナウイルス感染対策ガイドライン

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和4年５月２7日

大阪高体連ソフトテニス専門部

＜大会参加前について＞

□参加者が以下の事項に該当する場合は、大会参加を見合わせること。

　・発熱や風邪症状、咳・痰・胸部不快感、強いだるさや倦怠感また、味覚嗅覚に違和感がある。

　・過去１４日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある。

　・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、あるいは、７日以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された者。

□応援は参加校の部員のみ認める。（保護者、卒業生、一般の観客は入場禁止とする。）

□用具、用品のシェアをしないこと。また、マイボトルを用意し、コップの共有、使い回しを行わないこと。

□大会参加や宿泊に関し、保護者の了承を得ていること。（各校顧問が提出された同意書（別紙）を保管）

＜大会当日について＞

□顧問にて「令和4年度近畿高等学校選手権大会参加に係る健康状態確認書（大会本部提出用）」を印刷して、日毎（公開練習日含む）に参加者（部員・顧問・部活動指導員含む）全員に関する必要事項を記入し、大会当日の受付時に各府県委員長（公開練習日は本部受付）まで提出すること。

□移動や大会会場に入る際、必ずマスクを着用すること（試合中以外はマスクを着用）。

□会場内では他人との距離を２ｍ程確保すること。ペアで話をする際には、対面しないようにすること。

□監督、コーチ及びトレーナー、役員等は指示されたネックストラップを身につける事（部外者との判別のため）。

□試合開始前の挨拶、トスおよび試合後の挨拶はネットから１ｍ以上離れて行うこと。また、試合後の選手間での握手も禁止とすること。

□ペアなどとのハイタッチや握手は行わず、至近距離における声かけも行わないこと。

□アドバイスはマスクを着用し、対面を避けて行うこと。

□参加者が応援する場合は拍手のみとし声援（かけ声等）は行わない。但し、競技特性上の選手の発声、審判員のコールについては可とする。

□各コート審判台下に消毒液を設置する。各試合前・各試合終了後、選手・審判は必ず手指消毒を行うこと。

□飲食については、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えること。

＜大会終了後について＞

□大会開催後に大会参加者・関係者らの感染が判明した場合には、速やかに各校顧問に報告、各校顧問は、各府県委員長に報告すること。

□感染者が発生したとしても、その者を誹謗中傷したり、非難したりすることが無いように配慮すること。

＜その他＞

・大阪府、大阪高等学校体育連盟の方針に基づき大会を開催するため、ガイドラインについては変更及び適用しない状況になる場合もあります。